



年 組 名前

道新でワークシート

北海道の華やかな夏景色。稲の穂が垂れはじめ、沿線付近にいくつもの花が咲く。中でも最も目を引くのは、ヒマワリの花。JR 札沼線沿線の農場でもそこそこに見かける。

今回の「汽憶」はヒマワリに注目した。一概にヒマワリといっても、観賞用や

札沼線の汽憶

最後の夏染める鮮やかな大輪

菜種採取用、それから土壌維持のための肥料にする場合もあると聞く。用途はさまざまだが、ヒマワリは夏の象徴的な花として多くの人の足を止める。

漢字では「向日葵」と書き、太陽の向きに合わせてそれを追うように花も動く。黄色い大輪の花は常に

太陽に顔を向け、元気で明るく前向きなイメージをもたらす。ここは線路脇の畑。最後の夏に乗車した乗客にも、元気を与えてくれたことだろう。

文・写真 番匠克久（写真家）



廃止予定区間の最後の夏、ヒマワリのじゅうたんの上をさっそうと走っていく列車＝晩生内一札的間（浦臼町）

2019年9月11日（水）朝刊 空知版 18ページ（記事・写真については二次利用の許諾を得て再編集しております）

- ①写真に写っている黄色い花の名前は何でしょうか。カタカナで書きましょう。
- ②黄色い花は、色々な使い方ができます。どのような使い方があるか、本文から探（さが）して、一つ書きましょう。
- ③本文の最後に、「元気を与（あた）えてくれたことだろう」と書かれています。皆（みな）さんは、写真を見てどのようなことを思いましたか。また、わけも書きましょう。